

# 手柄山中央公園整備基本計画 【要約版】

## I 基本計画策定に向けた取り組み

- 概要  
手柄山中央公園は中心市街地の南西部に位置し、都市計画決定面積42.9ha・供用区域面積38.17haの総合公園である。園内には、姫路球場、陸上競技場等のスポーツ施設をはじめ、水族館、緑の相談所、温室植物園、文化センター、平和資料館等、多種多様な公園施設が集積し、緑化推進、スポーツ振興、平和学習等の様々な行政拠点となっている。
- 背景と目的  
現在、本公園は、園内施設の著しい老朽化等の課題やJR姫路・英賀保間新駅の整備構想、文化センターの移転への対応に迫られている。このため、園内施設の再配置を中心とする新設、改修等の中長期的な整備方針を示した「基本計画の策定」が求められている。

## II 6つの課題 と 5つの役割

### ■課題

- 老朽化に対する施設の更新や維持管理対策
- 公園内施設間の回遊動線の向上
- 緑の空間・多世代間交流広場の充実
- 情報提供機能や来園者誘導機能の充実
- 公園中央部の南北分断への対応
- 交通アクセス(駐車場問題)への対応

### ◆役割

- 広域レベルのスポーツ施設が集積するスポーツ拠点
- 慰霊塔、平和資料館、植物園、水族館等が設置され、平和学習、自然学習などの平和と学びの拠点
- 幅広い世代が集い交流する「憩い」、「やすらぎ」空間として、市民に愛される緑豊かなやすらぎの拠点
- 本市を代表する市街地の中心部にある総合公園として、魅力ある利便性の高い公園づくりが求められる
- 災害時における中播磨地域の広域防災拠点

## III 基本方針

市民利用を中心とする本市を代表する総合公園として、「スポーツ」や「平和と学び」、「緑豊かなやすらぎ」の交流拠点として、公園施設の新設、移転、統廃合を進める。また、公園を訪れた人を楽しませ、魅力ある利便性の高い公園づくりを目指すとともに、災害時における「広域防災拠点」としての機能向上を図る。

## IV 整備コンセプトと5つの視点

### 【整備コンセプト】

感動と笑顔あふれる憩いの交流空間の創出

### 【整備における5つの視点】

- ①スポーツの拠点としての整備
- ②平和と学びの拠点としての整備
- ③緑豊かなやすらぎの拠点としての整備
- ④防災拠点としての整備
- ⑤公園全体の魅力と利便性を高める整備

### 【整備方針】

- 大規模なスポーツ大会を開催できる本格的なスポーツ施設の整備を行う。市民がトップスポーツを観戦し、生涯スポーツの参加意欲を高め、競技レベルを向上させることができるよう、スポーツ推進計画との整合を図りながら、新たなスポーツ施設の整備を目指していく。
- 平和の象徴として慰霊塔のPRを強化し、平和学習の拠点として平和資料館の魅力の向上に努める。また、文化センター移転後の跡地へ緑の相談所と温室植物園を移設し、芝生広場を整備するとともに、既存の水族館と連携し、学びの拠点を形成する。
- 桜をはじめ四季折々の草花を楽しみ、幅広い世代が集い、憩う、やすらぎ、緑豊かな都心部の交流拠点として、安心して利用でき、市民に愛される公園となるよう公園機能の向上を図る。
- 広域防災拠点に位置づけられていることから、救援や復旧活動に当たる要員の宿泊出勤機能や、物資の集積・配送機能などの防災機能の充実を図る。
- JR姫路・英賀保間新駅の整備構想を踏まえ、公園全体の魅力の向上に繋がるよう、円滑な施設間動線の整備や飲食機能の導入、来園者への情報提供機能の充実など、公園を訪れた人を楽しませる魅力ある利便性の高い公園づくりを進める。

### 【公園施設再配置】

- (存続) 陸上競技場は、スポーツの拠点として存続させる
- (存続) 姫路球場は、スポーツの拠点として存続させる
- (存続) 中央体育館は、スポーツの拠点として存続させる
- (存続) 県立武道館は、武道の拠点として活用されている
- (新設) 新たに体育館を整備する
- (全面改修) 市民プールを全面改修し、新たに全天候型屋内プール、レジャープールを整備する
- (存続) 慰霊塔は、平和の象徴として存続させる
- (存続) 平和資料館は、平和の拠点施設として存続させる
- (存続) 水族館は、水生生物等の学びの拠点として存続させる
- (移転) 文化センターは、姫路駅周辺イベントゾーンへ移転させる
- (園内移設) 温室植物園は、文化センター移転後の跡地に移転させ、緑の相談所・温室植物園の機能を統合させた、新たな植物園を整備する
- (存続) スリラー塔・ロックガーデン等は、公園の修景施設として存続させる
- (存続) 回転展望台は、公園のシンボルとして存続させる
- (存続) 手柄山交流ステーションは、手柄山周辺施設の拠点施設として存続させる
- (新設) 新たに「ちびっこ広場」を整備する
- (新設) 緑の相談所の機能移転後、建物やその周辺をレストハウスとして整備する
- (廃止) 手柄山遊園は廃止する
- (防災拠点) 備蓄倉庫の設置や災害時の物資運搬車や給水車等の進入経路の確保等を検討し、防災機能の向上を図る
- (存続) 第1立体駐車場等の園内駐車場は存続させる
- (利便性を高める整備) 新駅から姫路球場までの連絡通路や施設間の移動動線、情報提供機能の充実、飲食機能の導入等を検討する。また、駐車場整備等を含む交通計画も検討する

## V 整備スケジュール

整備順位	整備区域	主な整備対象施設	整備目標年次
第1期	(公園北西部) 手柄山遊園・慰霊塔周辺区域	市民プール(屋内プール・レジャープール)、新体育館、ちびっこ広場、回転展望台、スリラー塔・ロックガーデン周辺、連絡通路、その他園路等の附帯施設	平成37年度
第2期	(公園東部) 文化センターの移転後の跡地、現緑の相談所周辺等	植物園・緑の相談所、芝生広場、レストハウス、その他園路等の附帯施設	平成38年度以降

# 手柄山中央公園の施設再配置 イメージ図



※（注）  
これは、手柄山中央公園内にある各施設の再配置に関するイメージ図です。今後、施設の規模、財源等について、具体的な検討を行い、事業を実施していくこととなります。